

芳賀台地だより

組合員のみなさまへ

芳賀台地土地改良区
理事長 入野 正明

3月11日に発生しました東日本大震災では阪神大震災の2倍を超える1万5千人余りの尊い命が失われて、未だに5千人余りの人が行方不明となっております。ご遺族の皆様に哀悼の真心を捧げます。

農地の被害については、青森県から千葉県にまたがる太平洋岸で2万4千ヘクタールの農地が冠水や流失の被害を受けました。

当改良区では当初、県農政部の評価で30億円との損害見積でしたが、その後の試掘、試験通水の結果、被害箇所は8箇所被害額も菅又幹線水路2,407万円、大川幹線水路1,418万円の他、合計で4,312万円となることが分かりました。このため当改良区では、4月下旬より連休返上で農林水産省関東農政局をはじめ、栃木県、構成市町の職員が復旧作業に取り組み、稲の作付けに間に合わせるために全力を傾注いたしました。組合員の方も作付け困難な水田については、作目を転換するなど工夫され、ほぼ例年通りの作付けができたとのことであります。

今後、復旧作業にかかる費用について、負担割合という問題が出て参りますが、菅又幹線につきましては、国が行う直轄災害復旧事業で、また、大川送水路、大川幹線水路、那珂川幹線水路については土地改良法に基づく補助災害復旧事業の申請をしています。

直轄災の負担割合は国が65%、県が20%、市町が15%で構成市町の協定を締結しました。また、補助災は国が65%、市町が30%、改良区が5%の負担割合で調整中です。

組合員の皆様には、何卒ご理解とご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。

銅 賞 受 賞

当土地改良区が、東京都平河町で開催された第52回全国土地改良功
労者表彰において、優良土地改良区として銅賞を受賞しました。

岩崎誠副理事長が、当改良区を代表して上京し、表彰状と記念品の額
を受け、満面の笑みをたたえて、記念写真に納まりました。また、岩崎
副理事長は、「役員と組合員が一致結束して頑張ってきたことが評価さ
れました。これを機会に、なお一層芳賀台地の農業振興のために尽力し
ていきます」と感想を述べました。

